

# 初めて 棚倉町で キャリア教育 を推進する皆さんへ

棚倉町のキャリア教育をご理解いただけるように実践事項を解説しました。

キャリア教育の本質は、極めて分かりやすくまとめると、以下の5点に集約されます

1 今の学びと将来とをつなぐとともに、保育園から高等学校まで学校教育すべてをつないで資質・能力を育成する教育です。

つなぐ

2 人生のすべてに係る教育であり、「自分は社会の中でどんな役割を果たし、どう生きていくか」を、日常的に自問自答（自分で考え決め）させていく教育です。

自分で考え決める

3 自己の肯定感と有用感は、他者との対話を通して得られるので、教師、保護者、地域社会の人々が肯定的・対話的に関わる必要がある教育です。

肯定的・対話的に関わる

4 自己のキャリア形成には、体験が不可欠であるので、課題解決型の体験活動を通して自己マネジメントサイクル（RVPDCA）を意識させ活用させる教育です。

課題解決型の体験活動

5 日常的に価値付けたエピソードをつなぎ合せ、資質・能力として意識させるよう、教師が個の「伴走者」集団の「伴奏者」として関わるが必要な教育です

価値付け、つなぎ、語らせる



# 1 つなぐ教育

○ 本町では、保育園から、幼稚園、小学校、中学校、高等学校まで一貫して基礎的・汎用的能力を育成する方向で進めています。

○ 基礎的・汎用的能力（「自己理解・自己管理能力」「人間関係形成・社会形成能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」）とは、学習指導要領の「生きる力」や「資質・能力の三つの柱」を「仕事に就くこと」に焦点を当て実際の行動に表れる観点から、自己、人間関係、課題解決、将来展望の四つに整理したものです。

○ 特別な力でなく、学習指導要領に基づき、子どもたちや地域の実態に即して、学校が重点化して設定してよい資質・能力です。

◎ キャリア・パスポート等を基に、前の学校や学年でどのように資質・能力を育成してきたかを把握して指導します。

# 2 自分で考え決める教育

○ キャリアとは、社会の中で果たす役割や自分らしい生き方の連なりや積み重ね（轍）であり、常に自分で考え、自分で決めていくようにしていくことが大切です。

○ そのために、自己を知り、夢や志を持ち、計画を立て、実践し、振り返り、新たな目標を持つという自己マネジメント力（RVP DCA）を育成していきます。

◎ 授業における学びから、行事等の取組、学期や学年等の目標、家庭学習の計画に至るまで、自己の課題等を自分で考え決め、協働的に取り組み、その過程をキャリア・パスポート等に記録します。



### 3 肯定的・対話的に関わる

○肯定的な関わりとは、キャリア・カウンセリングの手法を用いて、「傾聴」と「同意」を基本とし、熱心に聴き、話の内容に共感、同意見であることを言動や態度に表すことです。

○対話とは、日常生活や授業における会話から、キャリアパスポートや学習計画表のコメントまでを含むものである。教師の働きかけの総体でもあり、教師から、友人や保護者、地域の関係者まで幅広い他者が対象となるものであります。

○肯定感と有用感は、他から否定されることの少ない人間関係において、高められるものであるから、「心理的安全性」が必要となります。

◎ **肯定的・対話的に関わり肯定感と有用感を育成します。同時に「心理的安全性」を高めるために、集団の規範と目標を大切にして学級づくりを進めます。**



### 4 課題解決型の体験活動の設定

○体験活動は、探究の過程に組み込まれてこそ、その価値が発揮されるものです。体験の事前の課題設定、事後の表現と共有活動、新たな課題設定が必要です。

○体験においては対話を重視し、探究課題は系統的な職業体験と本町の歴史や文化のよさを調べるものを中心に構成することが望ましいです。

◎ **職業体験等においては、事業所と児童・生徒の事前の打ち合わせ、見学学習等においては複数回の現地学習などを設定し、児童・生徒自らが課題を設定し、解決する活動を重視し、キャリア・パスポートに記録します。**



## 5 価値付け、つなぎ、語らせる

○ 育てたい資質・能力をもとに、それが発揮された子どもの言動を、日常的に価値付けていきます。



○ 学級活動(3)の授業を中心に、価値付けたエピソードをつないで、資質・能力が身に付いた姿として意識させる場を設ける。さらに、自己のよさや成長について表現させたり、次の目標設定に生かしたりする。



◎ 日常的に価値付けたエピソードをつなぎ合せ、資質・能力として意識させるよう授業やキャリア・パスポートの教師等のコメントにも記入します。教師は、個の「伴走者」集団の「伴奏者」として、キャリア形成に関わります

個々のエピソードをつなぐ際には、「児童生徒の自己理解と教師の児童生徒理解をつなぐ」「因果関係をつなぐ」「児童生徒の成長をつなぐ」「児童生徒の都の多様な見方をつなぐ」ようにして資質・能力を育成します

なお、教育委員会作成の「カリキュラム・マネジメントの手引き」もご覧ください。



「つなぐ」「自分で決める」「肯定的・対話的に関わる」「課題解決型の体験活動」「価値付け、つなぎ、語らせる」が本町キャリア教育のポイントです。

そのすべてにキャリア・パスポートが大きく関わっています。

### 持続可能な地域社会の創り手を

Society5.0を生き抜く力を育てるキャリア教育  
～新しい時代に必要となる資質能力（基礎的・汎用的能力）の育成～

人間関係形成・社会形成能力

自己理解・自己管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

夢

夢

夢

夢



志